

患者さまへ

「肺切除術患者における術後 8 日目退院のクリニカルパスの有効性について」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、・対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2021 年 4 月より 2026 年 3 月までに福岡徳洲会病院外科で肺切除手術を受けた入院患者でかつ自宅退院
2 研究目的・方法	研究の目的と方法：リハビリテーション医学ではがんリハビリテーションとして周術期リハビリテーションの介入において術後早期回復プログラム（ERAS）による早期介入が重要視され、当院の肺切除術におけるクリニカルパスでは術後 8 日目を退院目標に術後に主治医へ安静度を確認の上、早期リハビリテーションの介入が術後約 2～3 時間という早期より離床に取り組んでおります。金田ら¹⁾ は肺葉切除後 4 時間以内に歩行を開始することは、術後の呼吸リハビリテーションを開始するための安全なアプローチと述べている。積極的な肺機能訓練やレジスタンストレーニング・歩行訓練など有酸素運動を行うことで ADL 獲得による早期自宅退院へと結びつけております。 よって今回、クリニカルパスでの術後 8 日目までの自宅退院した患者と術後 9 日以降に自宅退院した患者の 2 群に分け、要因分析を研究の対象としてクリニカルパス導入に対するリハビリテーションの介入時期や歩行開始することが早期退院への在院日数期間の短縮につながることを考えられ、早期離床および歩行の関連性について検証する。 研究の期間：施設院長許可院長の許可後（2026 年 9 月予定）～2027 年 3 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	情報：性別、年齢、体重、診断名、病歴情報（術式・手術時間・出血量）等 術前 ADL 状況（Functional Independence Measure（FIM）また Barthel Index（BI）） 身体活動（BMI・栄養状態・喫煙歴・既往歴：糖尿病・高血圧） 初回介入時の FIM、術後初回介入時の FIM、退院時の FIM 等
6 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 住所：〒816-0863 福岡県春日市須玖北4丁目5番地 電話番号：092-573-6622（月）～（金）9:00～17:00 担当者： 江上 篤史 病院名・職名：福岡徳洲会病院 リハビリテーション科、資格：理学療法士 研究責任者： 江上 篤史
-----------	--

2026年8月27日作成（第1.0版）